

◆ 2024 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：さいたま百景選定市民委員会

27A-08

代表者：会長 相田 武文

URL : <https://saitama100kei.info>

1. 活動が必要とされた状況

当委員会では、2010年に『市民が選んださいたま百景』を発行、2019年度からその姉妹編である『明日に引き継ぐさいたま百景』の発行を目指して活動してきた。今回の書籍では、未来のさいたま市に引き継いでいくべき風景、放っておけば消滅しかねない風景を紹介し、景観の保全・形成および広くまちづくりの参考としてもらいたいと考えた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・ 2024年度は、「新さいたま百景編集チーム」と「編集デザインチーム」（外部メンバー2名）により編集、レイアウトデザインを行った。
- ・ 昨年度の編集ワークショップの結果に基づき、4～5月において「編集デザインチーム」が第一次レイアウト案を作成した。
- ・ レイアウト案を検討する「編集会議」を以下の日程で開催した。なお「編集会議」は、市民活動サポートセンターのロビーで、毎回、執筆担当者をはじめとした12～15名程度が参加して行った。2024年6/18、7/17、8/22、9/10、10/16、10/22、11/21、12/12
- ・ 2025年に入ってから、編集統括者とデザインチームで印刷データの仕上げを行い、2/10に関東図書株式会社に入稿して、印刷することができた。

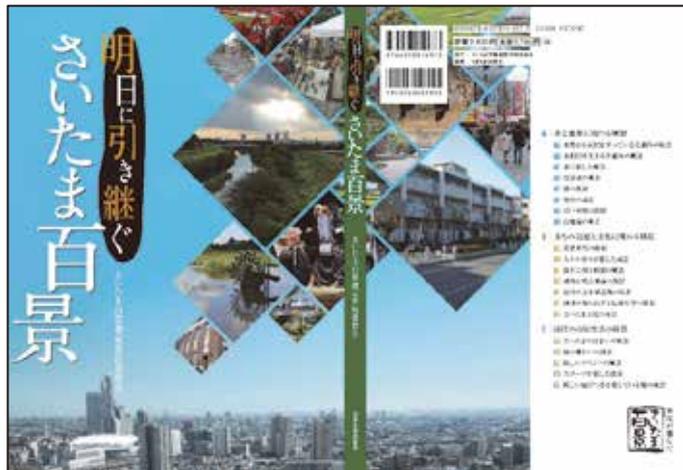
3. 活動の成果

- ・ 2025年3月初め、書籍『明日に引き継ぐさいたま百景』の初版2,000部を発行することができた。B5判、フルカラー、本文188ページ
- ・ 書籍の構成は以下のとおり。
プロローグ（p.1～）、第Ⅰ章：風景との対話（p.5～）、第Ⅱ章：明日に引き継ぐさいたま百景（風景カタログ）（p.15～）、第Ⅲ章：さいたま百景その後（p.165～）、巻末資料：さいたま百景選定市民委員会の活動（p.185～）

書籍

『明日に引き継ぐさいたま百景』

表紙カバー



4. 今後に残された課題

2025年度からは、発行した書籍を材料にして、広く市民の参加を求めたシンポジウムやまち歩きを開催し、さいたま市の景観やまちづくりについて一緒に考えていきたい。